

平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 株式会社 クレディセゾン

上場取引所 東

コード番号 8253 URL <http://www.saisoncard.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 林野 宏

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 大阿久 学

TEL 03-3982-0700

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|--------|------|--------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 64,480 | △11.9 | 11,282 | △0.7 | 12,845 | 2.1 | 9,875 | 46.3 |
| 23年3月期第1四半期 | 73,181 | △7.7 | 11,361 | 43.8 | 12,581 | 52.2 | 6,749 | 33.5 |

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 9,456百万円 (109.3%) 23年3月期第1四半期 4,517百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 53.78 | 53.75 |
| 23年3月期第1四半期 | 36.75 | 36.57 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-----------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 2,164,389 | 351,817 | 16.1 |
| 23年3月期 | 2,231,246 | 347,915 | 15.5 |

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 349,107百万円 23年3月期 345,229百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|------|--------|-------|--------|-------|--------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 131,000 | △9.8 | 12,500 | △8.7 | 15,000 | △14.9 | 10,000 | 0.3 | 54.46 |
| 通期 | 261,000 | △8.6 | 24,500 | △10.5 | 30,000 | △11.1 | 17,000 | 32.5 | 92.58 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|---------------|----------|---------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期1Q | 185,444,772 株 | 23年3月期 | 185,444,772 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期1Q | 1,810,277 株 | 23年3月期 | 1,809,960 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期1Q | 183,634,633 株 | 23年3月期1Q | 183,639,131 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社では、ホームページにて、事業・業績に関する補足説明資料及び四半期決算短信の英訳(要約版)を提供しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (4) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により大きく落ち込んでいた生産活動や個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、電力の供給不安や円高・資源高の継続が懸念されるなど、先行き不透明な環境下で推移いたしました。

また、当社が属するノンバンク業界においては、貸金業法の完全施行や割賦販売法の改定等によりキャッシング収益が減少し、ビジネスモデルの転換を余儀なくされるなど、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況において当社は、カードビジネスを核とした営業収益の拡大、フィービジネスの拡充と会員資産を活用したマーケティング事業の育成、リース事業やファイナンス事業の強化による収益源の多様化、債権の健全化や経費構造の見直しによる事業効率の向上など、新成長戦略の基盤づくりに努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

営業収益は、主力の「クレジットサービス事業」において、「セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カード」など稼働効率の高いプレミアムカードの獲得強化や有力企業とのサービス提携拡充によるカード利用特典の強化を通じてショッピング取扱高の拡大に努めました。また、ネット会員の増強やネットサービスの機能向上によるフィービジネスの拡充など、収益力の強化に注力いたしました。

しかしながら、貸金業法の改定に伴う総量規制の影響等によりカードキャッシング収益が減少したことに加え、当社が(株)そごう・西武と行っていた提携カードイシュー事業を(株)セブンCSカードサービスへ承継したことに伴い、新規カード会員数、ショッピング取扱高、ショッピングのリボルビング残高、カードキャッシング残高等が対前年同期比で減少した影響により、同事業全体では減収となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の新規カード会員数は47万人、当第1四半期連結会計期間末のカード会員数は2,505万人(前期末比11.6%減)、カードの年間稼働会員数は1,284万人(前期末比12.7%減)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間のショッピング取扱高は8,191億円(前年同期比15.0%減)、当第1四半期連結会計期間末のショッピングのリボルビング残高は2,618億円(前期末比12.7%減)、カードキャッシング残高は3,965億円(前期末比11.4%減)となりました。

「リース事業」では既存取引先との関係強化及び新規提携販売店の拡大等により増収となりました。

「ファイナンス事業」では、フラット35の実行件数拡大により収益が増加する一方、信用保証事業において保証実行額は増加したものの、前期に与信の厳格化を図ったことにより保証残高が減少した結果、同事業全体では減収となりました。

「不動産関連事業」では、販売用不動産物件の売却を進める一方、資産の入れ替えや圧縮など資産効率の向上に取り組み、不動産売上が増加したことにより増収となりました。

「エンタテインメント事業」では、東日本大震災による店舗休業・営業時間短縮の影響等により減収となりました。

以上の結果、**営業収益**は644億80百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

営業費用においては、与信管理と債権回収の強化及び弁護士・認定司法書士等による第三者介入債権が沈静化しつつあることにより貸倒コストが減少いたしました。また、環境保全や利便性向上の観点から推進している、ご利用明細書をいつでもネット上で確認できる「WEB明細」の登録会員を拡大したことにより通信費が減少したことに加え、業務効率化により広告宣伝費や人件費、金融費用など各種経費の抑制に努め、筋肉質なコスト構造の構築を図った結果、営業費用は531億97百万円(前年同期比13.9%減)となりました。

以上の結果、**営業利益**は112億82百万円(前年同期比0.7%減)となりました。

経常利益は、カード合弁会社をはじめとした持分法適用の関連会社の業績が順調に推移し、持分法投資利益が6億1百万円(前年同期比34.0%増)と貢献したこと等により、128億45百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

四半期純利益は、(株)セブンCSカードサービスの株式を(株)セブン・フィナンシャルサービスへ51%譲渡したことに伴う売却益として特別利益71億40百万円を計上したことにより、98億75百万円(前年同期比46.3%増)となりました。

1株当たり四半期純利益は53円78銭となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して668億57百万円減少し、2兆1,643億89百万円となりました。主な減少要因としては、平成23年4月1日を効力発生日とする会社分割等により、割賦売掛金が668億2百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して707億58百万円減少し、1兆8,125億72百万円となりました。金融機関への借入金返済やコマーシャル・ペーパーの償還等により有利子負債が1,071億89百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して39億1百万円増加し、3,518億17百万円となりました。この増加分のうち、利益剰余金が43億28百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期業績予想につきましては、前回公表（平成23年5月13日）の業績予想に変更はありません。

平成24年3月期第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益については、ほぼ計画どおり進捗しておりますが、営業利益、経常利益及び四半期純利益については、与信管理と債権回収の強化やコスト効率の向上に加え、弁護士・認定司法書士等による第三者介入債権の沈静化傾向に伴い貸倒引当金繰入額が計画を下回るペースで進捗していることにより、前回公表の業績予想に対する進捗率としては高いものとなっております。

しかしながら、依然として当社グループを取り巻く経営環境は厳しく、今後の東日本大震災による債権リスクや消費動向への影響などを精査する必要があります。

現時点においては、前回公表の業績予想の見直しを行っておりませんが、精査した結果、業績予想の見直しが必要な場合には速やかに公表してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 64,111 | 50,698 |
| 割賦売掛金 | 1,490,518 | 1,423,715 |
| リース投資資産 | 219,894 | 219,893 |
| 営業投資有価証券 | 7,219 | 10,040 |
| 有価証券 | 5,982 | 987 |
| 販売用不動産 | 229,996 | 230,471 |
| 買取債権 | 12,737 | 13,507 |
| その他のたな卸資産 | 1,113 | 1,090 |
| その他 | 60,092 | 57,012 |
| 貸倒引当金 | △118,625 | △113,864 |
| 流動資産合計 | 1,973,041 | 1,893,552 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 59,569 | 58,333 |
| 無形固定資産 | 76,632 | 80,981 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資その他の資産 | 126,540 | 136,077 |
| 貸倒引当金 | △4,969 | △4,949 |
| 投資その他の資産合計 | 121,571 | 131,128 |
| 固定資産合計 | 257,774 | 270,443 |
| 繰延資産 | 431 | 394 |
| 資産合計 | 2,231,246 | 2,164,389 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 171,065 | 202,351 |
| 短期借入金 | 248,029 | 229,779 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 138,960 | 137,771 |
| 1年内償還予定の社債 | 45,225 | 45,225 |
| コマーシャル・ペーパー | 110,000 | 55,000 |
| 1年内返済予定の債権流動化借入金 | 15,850 | 18,849 |
| リース債務 | 1,598 | 1,593 |
| 未払法人税等 | 1,535 | 6,112 |
| 賞与引当金 | 2,017 | 1,638 |
| 役員賞与引当金 | 88 | 19 |
| 利息返還損失引当金 | 19,612 | 16,997 |
| 商品券回収損失引当金 | 191 | 187 |
| 割賦利益繰延 | 6,148 | 5,371 |
| その他 | 37,342 | 42,245 |
| 流動負債合計 | 797,666 | 763,141 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日) |
|----------------------|-------------------------|------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 社債 | 210,887 | 200,887 |
| 長期借入金 | 691,635 | 672,929 |
| 債権流動化借入金 | 78,317 | 71,562 |
| リース債務 | 3,928 | 3,646 |
| 退職給付引当金 | 2,179 | 2,151 |
| 役員退職慰労引当金 | 73 | 78 |
| 債務保証損失引当金 | 5,464 | 5,472 |
| 瑕疵保証引当金 | 19 | 20 |
| ポイント引当金 | 65,880 | 66,399 |
| 利息返還損失引当金 | 15,569 | 14,241 |
| 資産除去債務 | 834 | 814 |
| 負ののれん | 705 | 611 |
| その他 | 10,169 | 10,615 |
| 固定負債合計 | 1,085,664 | 1,049,430 |
| 負債合計 | 1,883,330 | 1,812,572 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 75,929 | 75,929 |
| 資本剰余金 | 84,838 | 84,838 |
| 利益剰余金 | 185,628 | 189,957 |
| 自己株式 | △6,114 | △6,114 |
| 株主資本合計 | 340,282 | 344,610 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,569 | 6,133 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1,622 | △1,636 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,947 | 4,496 |
| 新株予約権 | 0 | 0 |
| 少数株主持分 | 2,686 | 2,710 |
| 純資産合計 | 347,915 | 351,817 |
| 負債純資産合計 | 2,231,246 | 2,164,389 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
|----------------------|---|---|
| 営業収益 | | |
| クレジットサービス事業収益 | 59,191 | 50,000 |
| リース事業収益 | 3,563 | 3,618 |
| ファイナンス事業収益 | 3,882 | 3,784 |
| 不動産関連事業利益 | | |
| 不動産関連事業収益 | 8,092 | 12,533 |
| 不動産関連事業原価 | 5,184 | 8,667 |
| 不動産関連事業利益 | 2,908 | 3,865 |
| エンタテインメント事業利益 | | |
| エンタテインメント事業収益 | 19,879 | 17,384 |
| エンタテインメント事業原価 | 16,353 | 14,329 |
| エンタテインメント事業利益 | 3,525 | 3,054 |
| 金融収益 | 110 | 155 |
| 営業収益合計 | 73,181 | 64,480 |
| 営業費用 | | |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| ポイント引当金繰入額 | 3,652 | 2,987 |
| 貸倒引当金繰入額 | 12,322 | 6,825 |
| 利息返還損失引当金繰入額 | 662 | 999 |
| 債務保証損失引当金繰入額 | 1,051 | 806 |
| 支払手数料 | 11,311 | 11,639 |
| その他 | 27,172 | 24,855 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 56,172 | 48,112 |
| 金融費用 | 5,647 | 5,084 |
| 営業費用合計 | 61,820 | 53,197 |
| 営業利益 | 11,361 | 11,282 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 12 | 9 |
| 受取配当金 | 474 | 555 |
| 負ののれん償却額 | 94 | 93 |
| 持分法による投資利益 | 448 | 601 |
| その他 | 393 | 349 |
| 営業外収益合計 | 1,423 | 1,609 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16 | 14 |
| 貸倒引当金繰入額 | 99 | — |
| 投資事業組合等分配損 | 37 | 9 |
| その他 | 49 | 22 |
| 営業外費用合計 | 202 | 46 |
| 経常利益 | 12,581 | 12,845 |

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日) |
|---------------------|---|---|
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 9 |
| 関係会社株式売却益 | — | 7,140 |
| 特別利益合計 | — | 7,149 |
| 特別損失 | | |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 1,224 | — |
| 災害による損失 | — | 105 |
| その他 | 248 | 1 |
| 特別損失合計 | 1,472 | 107 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 11,108 | 19,887 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 819 | 5,887 |
| 法人税等調整額 | 3,419 | 4,092 |
| 法人税等合計 | 4,239 | 9,979 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,869 | 9,907 |
| 少数株主利益 | 120 | 31 |
| 四半期純利益 | 6,749 | 9,875 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 6,869 | 9,907 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △2,170 | △699 |
| 繰延ヘッジ損益 | △332 | △22 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 150 | 269 |
| その他の包括利益合計 | △2,352 | △451 |
| 四半期包括利益 | 4,517 | 9,456 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,396 | 9,425 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 120 | 30 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。